

防災を通じた 世代間交流のまち 青木中央

青木中央地区



■ 地区概要

地区内を東急東横線が通っています。

区域は南北に分かれており、北側は反町駅周辺の起伏のある丘の上の住宅地で戸建住宅が多くなっています。南側は、横浜駅に近く、幹線道路環状1号線沿道の市街地で共同住宅が多くなっています。

また、横浜駅西口再開発等により今後も人口増加が見込まれます。

■ 人口・世帯数等の概況(令和7年3月現在)

	青木中央地区	神奈川区
総人口	7,098人	246,217人
0~14歳	782人(11.0%)	25,804人(10.5%)
15~64歳	5,209人(73.4%)	166,678人(67.7%)
65歳以上	1,107人(15.6%)	53,735人(21.8%)

	青木中央地区	神奈川区
総世帯数	4,212世帯	136,040世帯
平均世帯人員	1.69人	1.81人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	436世帯 (10.4%)	19,239世帯 (14.1%)



神奈川区
青木中央地区概況データ



レアリア かながわ支え愛プラン
(レアなエリアご近所情報サイト「レアリア」に地域活動などを発信中)



これまでの取組とこれからに向けて

東日本大震災の一年前より「世代間交流」をテーマに活動してきました。震災後は防災訓練等を通じた見守り活動と世代間交流を毎年積み重ねてきました。

- 安否確認訓練、物資運搬訓練
- 親子で参加できる災害体験
- 防災マップづくり(全戸配布)
- 見守り希望世帯アンケート調査
- 盆踊り、福祉の集い

訓練等は日頃の見守り活動を推進する皆さんも一緒に行い、災害時に備えた日頃の顔つなぎの機会となっています。

核家族化が進む時代だからこそ、町内で家族のように支えあえるまちづくりを目指します。そのためにこれからの地区を支える若い世代に、災害時の備えや日頃からの見守りの大切さについて、よりいっそう伝えていきたいと考えています。

目標1 (平常時の取組) 見守りを進めよう

【具体的な取組】

- 見守りが必要な高齢者等と連絡を取り、顔を合わせる機会を充実させます。
また、集いの場を設ける等、外出する機会を作っていきます。
- 顔見知りになれるよう世代に関係なく自由に参加できる場を広げていきます。
公園清掃など屋外活動を通じた世代間交流を推進します。



地福計画推進会議

目標2 (災害時の取組) 災害時を想定した取組を進めよう

【具体的な取組】

- 食料等の備蓄の呼びかけや継続した防災情報の提供により、住民の防災への関心を高めます。
- 災害時に迅速かつ的確な行動ができるよう、具体的な状況を想定した安否確認訓練等の実施を通じて見守りを進めます。
- 安否確認訓練や地域防災拠点などで行われる防災訓練に、子どもから高齢者まで幅広い世代の住民の参加を促します。



防災訓練